

## 第251回 教育研究評議会議事要録

日時 令和7年7月29日（火）15時00分～15時35分  
場所 甲府キャンパス大学本部棟第1会議室

### 出席者

（評議員）中村学長、黒澤・奥田・茅・高見・木内・小林 各理事  
埴・幸田 各副学長  
長谷川・中山・岸上 各学域長、服部附属図書館長  
清水・木島・小林・郷・武井・大山・島 各教授  
（列席者）東海林・小谷 各学長補佐、小俣・數野 各監事  
志村・石原 各副理事、雨宮・齊藤・斎藤・赤石・加勢・望月・京嶌 各部長  
深澤・土屋 各特命参事  
永倉・植村・千野・藤田・大坂・笹原・大森・伊藤・四氏 各課長

### 議事要録確認

第250回教育研究評議会（R7.6.24開催）議事要録を確認した。

### 報告事項

- 1 令和7年度教育関連プロジェクト及び優秀教育賞の決定について  
奥田理事から、資料1（回収資料）により、標記プロジェクトの採否（8課題採択）及び優秀教育賞（1件）を決定したことについて報告があった。
- 2 自然科学系論文の生産状況等について  
茅理事から、資料2により、本学論文数の経年変化及び他大学との比較結果等をもとに、標記生産状況について報告があった。  
なお、中村学長から、URA等を活用し研究サポートを加速し、教員の研究時間確保に努めていただきたい旨の発言があった。
- 3 「シン・山梨大学ワイン」について  
茅理事から、資料3により、「シン・山梨大学ワイン」の販売を開始したことについて報告があった。
- 4 山梨大学発ベンチャーの認定について  
茅理事から、資料4により、新たに標記ベンチャーを認定（1件）したことについて報告があった。
- 5 大学運営に係る執行部と学域との意見交換会について  
黒澤理事から、資料5により、標記意見交換会の実施方法等について報告があった。
- 6 ステークホルダーミーティングの開催について  
黒澤理事から、資料6により、標記ミーティングの開催方法等について報告があった。

- 7 教員の採用報告について  
高見理事から、資料7により、教員の採用（3名）を行ったことについて報告があった。
- 8 令和6年度教員評価結果による優秀教員奨励制度表彰者の決定について  
高見理事から、資料8により、標記表彰者（計42名）を決定したこと、及び表彰式（9月）の際には各学域の代表者が活動内容を発表することについて報告があった。
- 9 大村記念微生物資源研究フロウティラ基金の設立について  
黒澤理事から、資料9により、標記基金の設立について報告があった。  
なお、寄附の募集方法について確認があり、まずは企業を対象とした活動を行い、その後、個人向けの募集を行う予定である旨の回答があった。
- 10 附属学校園寄附活動について  
長谷川教育学域長から、資料10により、標記活動を開始することについて報告があった。併せて、同活動は学長とともに同窓会とも連携を取りながら進めていく旨の補足説明があった。  
なお、中村学長から、附属学校グラウンドの整備を中心に、同窓会と協働して同活動を進めていく予定である旨の発言があった。
- 11 厚生会館北側広場周辺の排水設備整備に伴う舗装改修（案）の概要について  
赤石施設・環境部長から、資料11により、標記舗装改修（案）の概要について報告があった。

## 審議事項

- 1 大学間協定の締結（案）について  
茅理事から、資料12により、ハンブルク大学（ドイツ）及びカンボジア工科大学（カンボジア）と包括的な交流協定を締結する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。  
なお、国際交流協定締結に関して、協定書の様式及び軍事研究の記載方法など、統一した取扱いとするよう関係委員会で確認・検討することとした。
- 2 令和7年度学内研究プロジェクトの採択（案）について  
茅理事から、資料13（回収資料）により、標記プロジェクト（14件）を採択する旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。併せて、令和8年度研究コミュニティ形成加速プロジェクトについては、意思表示の締切を延長するため、改めて各学域で教員へ広く周知いただきたい旨の依頼があった。
- 3 大学管理スペースの使用許可（案）について  
赤石施設・環境部長から、資料14により、標記使用許可（6件）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

※ 次回は、令和7年9月24日（水）15時00分から開催することを確認した。